



エボラ出血熱とは？

- ・ エボラウイルスによる感染症
- ・ 潜伏期：2~21日
- ・ 症状：発熱、頭痛、筋肉痛、咽頭痛などの**全身症状**の後、嘔吐、下痢、胸痛、**出血症状**（吐血・下血など）
- ・ 1~2週間でショックに至る
- ・ 死亡率が非常に高い (50~90%)
- ・ 治療は対症療法のみ ワクチンなし
- ・ 非特異的な全身症状を呈する
- ・ アフリカへの渡航歴がある場合に疑う

感染経路：接触感染

- ・ **感染者の体液**（特に**血液**）や体液で**汚染された注射器**など
 - ・ 流行地で、保菌のある野生動物（コウモリ、サル）の死体など
- 直接接触でウイルスが傷口や粘膜から侵入して感染する（感染力は比較的弱い）

感染対策のポイント

① 標準予防策 と 接触予防策



手袋 マスク ガウン ゴーグル

② 消毒：次亜塩素酸ナトリウム



日頃から！



流行状況



これまでは中央アフリカで散発的に小流行

2014年3月~**西アフリカ**で流行し、およそ2600人の感染者のうち、1400人が死亡 (8月20日現在)
→過去最大規模の流行

日本で流行する？

- ・ 流行地域はアフリカのみ
- ・ 接触によってのみ感染する
- ・ 日本の医療体制や生活環境



日本国内で流行する可能性は低いとされています